

新年度が始まりましたね。東日本大震災で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。不安なニュース、悲しいニュースの多い毎日ですが、雨のあとには春が必ずやってきます。今月は春の喜びを描いた絵本をご紹介します。

『はるがきた』

ジーン・ジオン／文 マーガレット・フロイ・グレアム／絵 こみや ゆう／訳
主婦の友社 2011年 1300円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

はるがなかなかこないまちで、おとこのこがいいことをおもいつきました。

しちょうさんもさんせいし、こうしんがはじまりました。まちじゅうのひとがペンキとはけとはしごをもっています。そう、まちじゅうにはるのえをかこうというのです。ビルにはヒナギクやおがわやみずうみがえがかけました。ぎんこうのまえのはしらはルリツグミ。ゆうびんポストにはネコヤナギ、などなど。まちじゅうがぬりかえられ、あかるくかがやきだしました。

ところが、そのばんはげしいあめがふりました。みんながかいたはるのえはすっかりながされました。でも、つぎのあさめをさましたまちのひとは、もっとすてきなものをめしたのです！

<子どもに手渡すときのポイント>

こどもたちに長く読み継がれている『どろんこハリー』の作者が素敵な春の絵本を届けてくれました！みんなが描いた素敵な春の絵を一瞬にして流し去る雨。けれどもその雨が本当の春を運んでくれるのです。

32センチの大判の絵本なのでよみきかせにもぴったりです。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

子ども図書館 重村 さやか